

ヨシでびわ湖を守る ネットワーク通信

32

VOL.



真っ赤なくちばしが印象的なバン

撮影:TO

「クルルツ クルルツ」と大きな声で鳴き、よく聞こえることから水田を害敵から守る「田の番をする鳥」としてバンと名付けられたそうです。ヨシ原の水辺を頭を前後にふりながら一羽、目の前を横切っていきました。足に水かきがなく泳ぐのは苦手だそうです、本来は臆病で用心深い性格だそうです、反面人になれやすいらしく比較的至近距離から撮影ができました。

白色のくちばしのオオバンにはいつも出会うのですが、黒褐色の体に真っ赤なくちばしのおしゃれなバンに新鮮なトキメキを感じてしまったことを覚えています。

びわ湖を知る ■ 問題

冬の琵琶湖で最も多い水鳥は
どれでしょうか？

- ① マガモ
- ② オオバン
- ③ キンクロハジロ
- ④ コハクチョウ

特集 1ページ

滋賀県立琵琶湖博物館 専門学芸員
(兼：滋賀県自然環境保全課 主幹)

中井 克樹 様より



琵琶湖のヨシ群落への脅威？ 急速に拡大する新たな外来植物

湖や川の水際に生えるヨシは、生育様式に基づく水生植物の分類では、植物体の一部が空気中に伸びる「抽水植物」とされています。近年、琵琶湖には同じ抽水植物のオオバナミズキンバイをはじめとする外来植物が侵入し、ヨシ帯を含む水際の環境に大きな影響を与えることが懸念され、さまざまな対策が採られています。

【新たな侵入者】

琵琶湖には、近年、オオバナミズキンバイ(以下「オオバナ」と)とナガエツルノゲイトウ(以下「ナガエ」と)という外来の抽水植物が相次いで侵入し、とくにオオバナは、「世界最悪の水生植物」としても知られるナガエより後にやって来て、それと置き換わるように勢力を拡大しています。オオバナもナガエも漂着した葉や茎の一部からでも根が出て育つ栄養繁殖の能力を備えているため、水際沿いに分布範囲を拡げていきます。そして、水面伝いに沖に向かって茎を伸ばし、空中に葉を繁らせ水中に根を垂らしながら、水面を大規模に覆ってしまいます。さらに、茎は陸方向へと伸びた先でも根を下ろす水陸両生の逞しさを併せ持っています。



『「オオバナミズキンバイ」 琵琶湖産は
亜種ウスゲオオバナミズキンバイに該当』

【懸念される影響】

オオバナ等に覆われた水面は、一見「緑豊かな」景観となりますが、もともといた他の植物が排除され、水中の酸素が欠乏して水生動物もすめなくなる可能性があります。さらに、船の航行が妨げられたり、漁業ができなくなったりするなどの悪影響も現実化してきました。また、オオバナはフランスやイタリア、ナガエは中国において、農地へも侵入して深刻な被害を及ぼしており、これらの植物が水の流に乗って分布を拡大させることを考えると、下流域へと運ばれることに加えて、農地への侵入に対しても警戒が必要です。このように、オオバナ等はさまざまな影響が問題視されるため、特別に対応が必要な侵略的外来種として、現在、琵琶湖のまわりにおいてさまざまな主体が対策に取り組んでいます。



『湖面をおおい尽くす
オオバナミズキンバイの大群落』



『「世界最悪の水生植物」とも
評されるナガエツルノゲイトウ』

【取り扱いも厄介】

オオバナもナガエも時に数千㎡に及ぶ大規模群落に成長し、効果的に除去するには建設機械や水草刈り取り船などの機械力も必要となります。しかし、現場に少しでも根や茎などの植物体が残っていると再び勢力を回復させることから、大規模な機械駆除を行う場合であっても、できるだけ「取り残さない」ように人力による駆除を併用しています。さらに、そのようにしても現場には植物体が残ることがあり、また、新たに漂着する

特集 2ページ



『スイングヤーダと呼ばれる
林業用の建設機械を用いた除去』



『沈水植物の刈取り船
ハーベスターも導入』



『係留中のヨットに茎を
よじ登らせ甲板にも繁っている』

【今後の対応】

オオバナ等への対策事業は2013年度から始まり、2014年度から機械駆除が導入され、2015年度には大規模なリバウンドを経験しながらも、2016年度からは「取り残さない」、「再生させない」という2原則を基本としながら、積極的かつ戦略的な駆除と管理を進めることで、オオバナ等の年度末の残存面積は2期連続で縮減されました。私たちは、年度初めの時点で機械駆除を必要とする大規模な群落が残っていない状態を「管理可能な状態」とし、対策事業の主軸を駆除から管理(巡回・監視)へと徐々に移し、今後数年のうちに、琵琶湖全体を管理可能な状態に置くことを目標としています。

しかし、大規模群落が取り除けたとしても、除去に手間のかかる小規模群落が残されており、これらを放置しておくわけにはいきません。栄養繁殖だけでなく種子繁殖も行うオオバナでは、湖岸に漂着した種子からの発芽も懸念材料です。管理可能な状態を維持しながらオオバナ等を全体として抑え込んでいくには、積極的駆除の次の段階として、関わっていただく方々の裾野を広げ、地域に根ざした「監視の目」を増やしていくなど、多様な主体が連携した管理体制づくりについても視野に入れながら、対策を進めていく必要があります。

こともありうるため、駆除作業を行った後も同じ場所で定期的に巡回・監視を続けて「再生させない」ためのアフターケアが不可欠です。

大規模な駆除事業によって回収されるオオバナ等は相当な量となります。両種とも外来生物法の特定外来生物に指定されていることから、水陸両生の能力を憂慮して現時点では焼却か埋設による処理がなされています。しかし、除去に加えて乾燥や減量にもかなりの手間と時間がかかるため、処理を円滑化・効率化するための新たな技術開発が待たれます。一方で、機械駆除のできない小規模な群落が、水際のヨシ群落内や石組み護岸にも根深く生育しています。これらは根まで完全に除去することがきわめて難しく、新たな除去手法の開発も必要です。



『高水位の時に漂着し石組み護岸に
深く根を下ろすと駆除が大変』



『成虫も幼虫もオオバナの葉を食べる
キタカミナリハムシは救世主になるか？』

ネットワーク 広場

株式会社 ヒキタ事務機

疋田 絵理子 様より



地域一番の文具・事務用品店を目指して

ヒキタ事務機は草津市に店舗を構え、企業、官庁、学校への納品を主体に様々な商品、サービスを提供しております。近年では通販が主流の中「人との関わりを大切に」の考えのもと、地域一番の文具、事務用品店を目指しています。商品を求めて足を運んで下さったり、お電話くださるお客様へ一つひとつ丁寧な対応を心がけています。

私自身、草津で生まれ草津で育ち常に滋賀の琵琶湖を傍に感じ成長してきました。近年では文具好きの方も増えましたが、文具を通して皆様に環境について考えて頂ける機会を持って頂けるよう店舗の方でも環境配慮商品を取り揃えています。身近な事務用品でも、環境配慮商品やエコ商品が実はたくさんあるんですよ。身の回りで何気に使っている消しゴムや鉛筆、紙もエコに繋がっているって事を伝えていけたらと思っています。



琵琶湖のヨシを利用したびわこ文具やリエデンのヨシ文具は環境に敏感な企業様や、地元の方からもご好評頂いており、地域のイベントでの記念品などご利用頂いております。大人向けのデザインや琵琶湖と川の魚がひと目で分かるヨシノートがお薦めです。ヨシコピー用紙やヨシ名刺、各種別製品の製作なども実績が上がってきています。SNSの方でも、とび太くんファンもいるくらいです。

今年の12月1日に行われるヨシ刈りボランティアには夫婦で参加させて頂きました。商品をご提供させて頂く立場としては、その活動を通し琵琶湖の実態を伝えていけたらと思います。

プライベートでは琵琶湖へ繋がる川の近辺へキャンプに出掛ける事が日々の癒しとなっています。不自由な環境で、自然と一体となれる感覚がよい感じなんです。個人的には洗剤を使って食器は洗わないようにしています。すぐ傍で流れている川が琵琶湖へ繋がっていると思うと、日ごろの排水も気を付けたいです。キャンプを初めて10年になりますが、近年文具同様に人気が出てきてキャンプ人口が多くなりました。県外からもたくさんの方が来られていますが、琵琶湖を大切に思って楽しんでもらえたら嬉しいです。

微力ではありますが、滋賀県の自然と景観、何よりも琵琶湖を守るために

県内外の方々に、ヨシ文具を知って頂ける活動をしていきたいと思います。



(株)ヒキタ事務機 : ホームページ
& インスタグラムをご覧ください。⇒

<http://www.hikitajimuki.co.jp>

<https://www.instagram.com/hikitajimuki/>

ネットワーク アルバム

ヨシ刈りシーズン始まる！

伊庭内湖ヨシ刈りボランティアのようす

2018年12月1日(土)



刈り取り前



10回目となる伊庭内湖のヨシ刈り。
ネットワーク会員165名。総勢270名が汗を流しました。
回数を重ねるごとによみがえっていくヨシ原。

手入れ(刈り取り)の成果を実感してます。



《冬ヨシのバイオマス調査》

滋賀県さんと伊庭内湖で
簡易調査を実施。

ヨシカーボン認証に一步前進です。



作業終了後、地元のご厚意。
豚汁とおにぎりで癒やされています。

刈り取り後



《西の湖ヨシ刈りボランティア》2回開催

- 1回目 2019年2月 2日(土)
10:00~12:30 ヨシ刈り活動
- 2回目 2019年2月16日(土)
10:00~12:30 ヨシ刈り活動
お知らせ

びわ湖を知る ■ 解答 

② オオバン

10年前の3倍ほどに増えているそうです。

みんなの リエデン

びわこ文具シリーズ 「びわこコースター」

〈製品仕様〉

寸法:φ90mm

枚数:3柄×各1枚

絵柄:淡水、薄紅、黄金

価格:350円(税別)

ヨシ紙とコースター原紙を合紙し活版印刷の琵琶湖の凹凸が手に取っても楽しい一品。琵琶湖が見せる様々な表情を切り取り、デザインした、円形カードです。

季節や時間で七変化する琵琶湖の表情を表現！

びわこコースター



淡水(たんすい)

薄紅(うすべに)

黄金(こがね)

びわこコースター活用術！ ～パーティション編～

お楽しみ例①

びわこオーナメント



パンチで穴を開けてリボンを結ぶだけ！
裏にサンタさんへのメッセージを書いてみる！?
プレゼントに添えるカードとしても使えます

もちろん
コースターとしての
吸水性有り！

お楽しみ例②
びわこ神経衰弱



お正月にみんなで！絵柄を書き足してオリジナル絵札を作ったり！

視点をちょこっと変えて自分なりの楽しみ方を発見してみては♪